

2017年3月11日で創業116周年を迎えた『ワイキキのファーストレディー(貴婦人)』 モアナ サーフライダー ウェスティンリゾート&スパの歴史



世界の交差点でもあるハワイに位置する優雅なリゾートとして相応しい「モアナ(広がる海)」の名を冠し、1901年にパイオニアとして誕生したザ・モアナホテル。オアフ島にてラグジュアリーのプロトタイプ、そして模範として、またハワイでの観光においては女神として愛されてきました。ザ・モアナホテルには旅行者がスチーマートランクや子供、側近、ペットなどと共にパラダイスの夢を求めて世界中から集まりました。

ザ・モアナホテルが建つ地は立憲君主国から領土、州へと移り変わったハワイを見守ってきました。キング・カラカウアとプリンス・クヒオは後にザ・モアナホテルのボート乗り場となった330フィート(約100メートル)の岸辺にてポーカーやバックギャモンなどのゲームを楽しみながら夕暮れを過ごしました。中庭にそびえ、多くのロマンスや再会、秘密を見守ってきたバニヤンツリーは1904年に植えられたものです。

美しいヴィクトリア調建築のホテルのメインタワーは1901年に建てられ、当時は現在のウイングタワーは存在せず、メインタワーは木造でした。4階建てで、75の客室のほかビリヤードルーム、ポーカールーム、ビュッフェルーム、レディースパーラー、図書館が併設されました。その当時ホテルを訪れた人々は、夜には300以上の赤・白・青色のランプに美しく照らされる地上約40メートルの最上階にある展望台から、美しく広がったワイキキのビーチやハワイの風景を楽しんだことでしょう。

現在のウイングタワーは1918年にメインタワーの5階、6階増設と共に施工され、その工事によりホテルにはさらに175の客室が加わりました。南北戦争前に南部で多く見られたベランダを彷彿させるラナイは、バニヤンツリーや美しい海を見渡せる中庭側に作られました。

第二次世界大戦の後、ザ・モアナホテルは34万ドルの改装を行いました。1954年に改装が完了するとバニヤンコートは舗装され、古きよきカマアイナ・バーの横にはテラゾのダンスフロアが作られました。

1963年には、現在ザ・ビーチ・バーとして知られる「ビキニ・バー」がオープンしました。マトソンは1952年に、戦後初めてのホテルとして8階建ての139室からなるサーフライダーホテルをダイヤモンドヘッド側に建設しました。ホテルは1952年の1月にオープンし、現在ではモアナ サーフライ

ダーのダイヤモンドヘッドウイングとして知られています。このサーフライダーホテルは 1959 年にシェラトンコーポレーションによって買収され、1963 年 7 月には小佐野賢治の手に渡りました。1969 年には 21 階建て 436 室の新しいサーフライダーホテルがオープンし、8 階建てのサーフライダーはオーシャンライナーとその名を改名しました。

1972 年、ザ・モアナホテルはアメリカ合衆国国家歴史登録財として認定を受けました。

1989 年に総工費約 5 千万ドルと 20 ヶ月以上の年月をかけた改装作業が施され、ザ・モアナホテルは 1900 年代はじめの洗練された姿に戻りました。

1999 年 5 月には約 2 百万ドルをかけて歴史深いバナヤンウイングの外観を修復。2007 年にホテルブランドを変更し、モアナ サーフライダー ウェスティン リゾート & スパとして新たに生まれ変わりました。

現在のモアナ サーフライダーは往年の魅力にさらに磨きをかけ、これからも『ワイキキのファーストレディー(貴婦人)』として親しまれてゆくでしょう。

